

白石町立中学校統合再編計画（案） 住民説明会

結 果 報 告



説明会の結果

白石町及び白石町教育委員会では、令和2年10月から11月に住民説明会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各小学校体育館で保護者を対象に、またその他の公共施設で地域住民を対象としました。合計11回開催し、延べ508名の方の参加がありました。

対象	期日	場所	参加者数
白石小学校区	10月27日（火）	白石小学校体育館	48名
須古小学校区	10月28日（水）	須古小学校体育館	52名
北明小学校区	10月30日（金）	北明小学校体育館	54名
六角小学校区	11月5日（木）	六角小学校体育館	30名
福富小学校区	11月6日（金）	福富小学校体育館	57名
有明東小学校区	11月10日（火）	有明東小学校体育館	49名
有明西小学校区	11月12日（木）	有明西小学校体育館	47名
有明南小学校区	11月13日（金）	有明南小学校体育館	45名
白石地域	11月14日（土）	白石町総合センターホール	56名
福富地域	11月15日（日）	福富ゆうあい館ホール	33名
有明地域	11月15日（日）	有明公民館ホール	37名
		延べ参加者数	508名

意見の概要と回答

●学校規模等に関すること

①30人学級を考えるべき

⇒30人学級が国の基準になれば、速やかに対応します。

②学校規模が大きくなることへの不安

⇒事前交流事業の実施を行います。

⇒スクールカウンセラーの常駐についても検討します。

⇒余裕のある教職員の配置により、手厚い支援を行います。

③部活動

⇒事前に合同練習を行います。

⇒合同チーム編成ができるよう考えています。

④教育の充実

⇒先行的な教育に取り組んでいこうと考えています。

⇒インターネットを活用した学習環境の整備等に取り組んでいきます。

●通学等の安全・安心に関すること

①通学支援の基準

⇒国が法令上で示している通学支援基準は、通学時間概ね1時間以内、通学距離概ね6km以内となっています。

②スクールバスによる通学支援

⇒スクールバスについて、ルートや時間調整など、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で検討していくこととなります。

③通学路の安全対策

⇒通学路に合わせた道路の整備、歩道の確保、地域での防犯灯の設置等、安全対策に努めます。

●学校施設・財政面に関すること

①増築・改築に係る町の予算

⇒教育については、毎年の予算の中から特に確保をして捻出しています。
学校に特化した基金があるわけではありません。

②校舎等の増築・改築の方法

⇒既存施設の改修と、足りない部分の増築を行います。
⇒災害時の安全性の確保に取り組みます。
⇒今後の財政計画も考えながら進めていくことになります。

③今後のプールや給食センター

⇒プールは、今後どうするか決まっていません。
⇒給食センターは、今年、検討をしているところです。

④小中一貫教育

⇒小中一貫教育について、今現在は考えていません。

●その他学校統合再編に関すること

①学校統合再編に至った経緯

⇒財政面や、教職員の問題など、総合的に考えて、統合再編に向けた話が動き出したところです。

②学校統合再編の進め方

⇒議会からの問題提起、第2次白石町総合計画を作る際の町民アンケートの結果、そして昨年度開催の学校統合再編審議会での協議により、進めています。

③計画の決定

⇒説明会、パブリックコメントでのご意見をお聞きし、今後計画を決定します。

④詳細の決め方

⇒計画決定後に新しい学校づくり準備委員会（仮称）を設置し、具体的な事項について協議します。

●地域の活性化に関すること

①町の人口増の施策

⇒町としては、婚活や農業で人を呼び込むこと等、人口増・維持を考えています。

⇒教育委員会としては、魅力的な学校を作ること考えています。

②地域から学校が無くなること

⇒寂しい思いはあるが、学校の第一目的は、子どもたちの教育であると考えます。

③自慢できるような学校づくり

⇒部活動問題等を解決し、よりよい学校づくりを目指します。

意見等と回答（もくじ）

説明会各会場では、以下のような項目のご意見やご質問をいただきました。これらに対する白石町及び白石町教育委員会の回答をお示しします。

大分類	ご意見等の概要		掲載ページ
●学校規模等に関すること	①30人学級を考えるべき	②学校規模が大きくなることへの不安	P8～
	③部活動	④教育の充実	
●通学等の安全・安心に関すること	①通学支援の基準	②スクールバスによる通学支援	P17～
	③通学路の安全対策		
●学校施設・財政面に関すること	①増築・改築に係る町の予算	②校舎等の増築・改築の方法	P21～
	③プールや給食センター	④小中一貫教育	
●その他学校統合再編に関すること	①学校統合再編に至った経緯	②学校統合再編の進め方	P25～
	③計画の決定	④詳細の決め方	
●地域の活性化に関すること	①町の人口増の施策	②地域から学校が無くなること	P30～
	③自慢できるような学校づくり		

白石町及び白石町教育委員会の回答

学校規模等に関すること

Q 令和6年度開校時の学級数について、どうなる予定か。

(全会場)

A 現在の小学3～5年生が、令和6年度開校時に中学1～3年生になります。
令和2年度の小学3～5年生の特別支援学級在籍者数48名を考慮すると、

【40人学級での算出】	通常学級	1年生	(37～38人学級)	5学級	計15学級
		2年生	(36人学級)	5学級	
		3年生	(33～34人学級)	5学級	
特別支援学級	知的		2学級		
	自閉・情緒		4学級		
	難聴		1学級		
	病弱		1学級		
	弱視		1学級		
	肢体不自由		1学級		
					計10学級
【30人学級での算出】	通常学級	1年生	(27人学級)	7学級	計19学級
		2年生	(30人学級)	6学級	
		3年生	(28人学級)	6学級	
	特別支援学級	については同じ			計10学級

※質問後の()内は会場名

Q 1学級あたりの人数について、40人学級は多い。コロナ禍の中、30人学級の話も出ている。
30人学級で考えるべきではないか。 (白石小学校)

A 40人学級が国の基準です。30人学級が国の基準として示されれば、この統合再編の中で取り入れていく予定です。

Q 佐賀県内で国への意見として、佐賀県と5市4町が、少人数学級の推進を求める意見書を提出していることはご存知か。 (有明公民館)

A 正確なことはわかりませんが、聞いたことはあります。

Q 中1ギャップというものがある。今1学級なのが、急に5学級になることについて、どういうふうに考えているのか。 (須古小学校)

A 友達が増えることでの子どもたち、保護者の不安はあると思います。事前に交流事業を考えたり、学校が楽しみだと思えるよう、子どもたちの気持ちを高めていきたいと考えています。

Q 新設中学校には、スクールカウンセラーの方の常駐について、是非検討していただきたい。
(有明南小学校)

A スクールカウンセラーについて、ご意見、要望としていただいております。

Q 大勢になると先生が目が行き届かなくなると思うが、そのようなことがないようにしてほしい。
(白石小学校)

A 大きな学校が子どもたちに目が行き届いていないかという点、そうではありません。新しい学校でもそのことには努めて参りたいと思います。

Q 通常学級はもちろん、特別支援学級も、とにかく生徒一人一人に目の行き届くような先生の配置をお願いしたい。
(白石小学校)

A 本町では、教育支援員の制度があります。手厚い支援ができるよう考えています。

Q 職員が増えることに期待している。支援を要する生徒に対し、合理的配慮をして欲しい。ケアの充実、通常学級の生徒にもわかってもらえるような教育をして欲しい。 (有明公民館)

A スクールアシスタント制度も確実に引き継いで、個別最適化ということをしっかり検知しなければならぬと思っています。

Q 特別支援学級が10学級ということだが、何人の教職員で担任されるのか。種別に分けて学級が設置されるのか。 (北明小学校)

A 例えば、肢体不自由の子どもが1人でもいれば、1学級開設され、学級担任が1人つきます。また、支援員がサポートに入り、手厚く特別支援教育に取り組んでいきたいと思っています。

Q 教職員の数について、新設中学校になった時、現3中学校を合わせた教職員数より減る。一人一人を大切にしたい指導が難しくならないか。 (白石小学校)

A 総数としては減るが、学級数が増えることで、学級担任以外に余裕が出てきます。

Q 生徒数が多くなれば、いじめが増えるのではないか。

(総合センター)

A いじめというのは、人数が多い少ないで起こるものではありません。どんなに小さな学校でも、どんな子にも起こり得るということです。大切なのは、子どもたちがお互いを尊重して思いやる心であり、早い段階で見つけ、手厚いケアをしていきたいと考えます。

Q 過渡期に在籍をする生徒にとっては、メリットよりもデメリットが多くあるのではないかと不安に思う。ご配慮いただきたい。

(白石小学校)

A 新しい学校についてしっかりお伝えし、子どもたち、保護者、先生方にとっても、不安や悩みがないようなかたちでの交流活動、授業、協議を取っていきたいと考えます。

Q 在校中に工事が開始されると思うが、受験があることも考え、在校生へも配慮をお願いしたい。

(北明小学校)

A 工事については現在検討中ですが、学校期間中になる場合は、生徒の授業の妨げにならないよう、安全対策もしっかりして対応したいと考えます。

Q 福富中学校や有明中学校の運動場も使って部活動をする考えはあるか。分散させると、ゆとりをもって活動ができる。
(白石小学校)

A 部活動については、他市町を参考にしながら取り組んでいきたいと思います。

Q 部活動について、部員数が少ないから活動ができないということだが、できる範囲での活動でいいではないか。過去もそうしてきた。
(北明小学校)

A 子どもたちは多感な年頃であるため、いろいろなことに挑戦したいだろうと思います。そのような夢をかなえられるような環境づくりということで、ご理解いただければと思います。

Q 部活動について、中学3年生で一緒になるのはどうなのか。
(福富小学校)

A 部員数が少なく、活動が困難という場合もあることを考え、新設中学校の開校前から、3中学校合同で中体連に出場できるような要請を、県の中体連事務局に申し出ています。

Q 部活動について、19部活動開設可能になるとのことだが、何が増えるのか。

(有明南小学校)

A 19部活動が開設できる教員数の確保ができるということです。何をするのかということは、子どもたちの要望等により、今から考えていくことです。

Q ICTを進めて行くということだが、いきなりできるのか。指導員のことや、どのようなサポートがあるのか教えて欲しい。

(北明小学校)

A GIGAスクール構想ということで、今年度末に端末を購入し、来年度から使えるように進めています。町でも、ICT支援員を増やし、各学校で対応するように計画しています。

Q ノーマライゼーション教育について、障害のある子どもたちと一緒に教育するのは、その子どもたちがきついのではないか。

(福富小学校)

A 特別支援教育について、以前とは指導体制が大きく変わり、非常に手厚く、丁寧に特別のカリキュラムが組まれます。学級担任のみではなく、スクールアシスタントを含め支援を行います。

Q 副校長とは何か。副校長を置く意味があるのか。

(六角小学校)

A きちんとした決まりはないですが、5クラス規模の学校については、副校長を設けることができるという新しい制度です。教頭よりも、より校長に近い権限を有した管理職です。

Q 私立や県立の中学校に進学する子どもたちや保護者に対し、どうすれば町内の中学校にとどまってくれるのかということについて、もし考えがあれば教えて欲しい。

(総合センター)

A 今年度、町内で41名が私立、県立中学校に通っています。今後統合再編を進め、魅力ある学校を作ること、教育の面で今までできなかったことをすることが、その手立てになるのではないかと考えます。そういう努力を続けて参りたいと思います。

Q 感染症のことを心配している。新設中学校になった時に、今よりも感染のリスクが高まりはしないかと思う。学校でクラスターが発生したら、町全体が混乱を招くことになる。

(総合センター)

A ほとんどは、学校での感染ではなく、家庭での感染です。感染症対策は、学校でもしっかり行ってもらっています。対策については、引き続き注意していかなければならないと思っています。

Q 統合再編するときに中学3年生であるが、制服や体操服は新たに購入しないといけないのか。
(須古小学校)

A 基本的にはなるべく負担が掛からないようにしなくてはなりません。具体的なところは、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で、検討していきます。

Q 新設中学校の校名について、子どもたちに決めてもらいたいなという気持ちがある。
(有明東小学校)

A 校名については、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で検討することになります。

通学等の安全・安心に関すること

Q 遠距離通学者への支援ということで、おおむね1時間以内という時間は、徒歩での1時間なのか、自転車での1時間なのか。
(有明東小学校)

A 時間については、徒歩、自転車どちらでということではなく、小学校については徒歩の方が多いと思うし、中学校では自転車の方が多いと思います。それを含めたかたちで考えていきます。

Q 通学支援について、6kmというくりだけではなく、生徒の年齢、道路の明暗、交通量なども考慮して、もう少し細かく支援計画を立ててもらおうと安心できる。
(有明東小学校)

A 6km、1時間というのは国が法令上で基準として示しているものです。町内の通学については、来年度以降に、白石町に合った方法を、町道の整備も含めて考えていくことになります。

Q 通学支援基準の6km圏外について、新明も考えてもらえたらと思う。
(有明東小学校)

A 通学支援についての詳細な話は、来年度新しい学校づくり準備委員会（仮称）で検討することになります。保護者の意見をお聞きしながら決めることになります。

Q 通学支援について、基準があると思うが、きっちりその基準で考えるのか、その境界が含まれる地区で考えるのか。
(有明公民館)

A 他市町を参考にすれば、その行政区単位で考えられているところがあります。参考にしながら、準備委員会（仮称）で検討することになります。

Q 通学支援が必要でない地域の生徒でも、スクールバスの路線上で、乗せることができるようなことも考えていただきたい。
(有明南小学校)

A 通学支援をするときには、スクールバスであればルートを検討するとか、そういうことも必要に応じて対応したいと思います。

Q 部活動によってスクールバスが利用できなかつたりすると不公平なので、スクールバスの本数を増やすという計画もあるのか。
(白石小学校)

A スクールバスを走らせる場合には、当然時間調整をしていくことになると思っています。詳細については、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で決めていくことになります。

Q スクールバスの利用について、保護者の負担にならない体制づくりを考えて欲しい。
(白石小学校)

A 不安が多い方もいらっしゃると思います。保護者の方々の意見を聞きながら、また、説明会で出た意見をしっかり伝えながら、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で協議をしていきます。

Q 祐徳バスを利用して通学ができるのか。そのあたりは考えているのか。
(有明南小学校)

A 通学支援については、公共交通機関運賃補助等も考えていくことになるかと思いますが。どのような方法がいいかについては、保護者の意見も聞きながら準備委員会（仮称）で決めていくことになります。

Q 通学について、交通安全面はどこまで考えているのか。
(須古小学校)

A 交通安全面についても不安があると思います。子どもたちが安全に登下校できるよう、ご要望をしっかりと受け止め、安全対策をとっていかねばならないと思います。

Q 通学路の安全対策について、具体的にどうするのか。

(有明西小学校)

A 通学路に合わせた道路の整備、歩道の整備、防犯灯についても、今後検討していきたいと思っています。

Q 子どもが安全に登下校できる環境づくりを大切にして欲しい。歩道や国道も危険な箇所がある。
(有明公民館)

A 通学路については毎年、通学路点検を行っていて、危険箇所については対応をしています。歩道の確保、地域での防犯灯の設置等もあわせて安全の確保に努めて参りたいと思っています。

Q 小学生という時期に、歩いて登下校するというのは、身体面でも地域の人たちと会うという面でも貴重である。是非、残していただけないか。
(有明東小学校)

A 重要なことだと考えます。スクールバスによる通学支援を行うにしても、地域に登校する子どもたちの姿は残していくかたちになると思います。

学校施設・財政面に関すること

Q 改築するとなると、どれくらいのお金が掛かるのか。準備金として貯金をしてあるものなのか。
(ゆうあい館)

A さまざまな基金を設けていますが、予算トータルで見るということで、学校に特化した基金は設けていません。毎年の予算の中から捻出をしているものです。町にはいろんな課題がありますが、その中でも教育については特に予算確保をして、今の状況に至っています。

Q 統合再編するには、ものすごくお金が掛かる。少し工夫すれば、小中学校をこのまま残せるのではないか。トータルで考えたら、費用面でも残した方がいいのではないか。
(ゆうあい館)

A 耐用年数を過ぎたからといって使用できないということはありませんが、多額の経費が掛かっています。しかし、本体は脆くなっていくので、近い将来立て続けに建て替え時期が来ます。1校25億円程度掛かるのを11校は考えられません。総合的に判断し、統合再編が必要だと考えます。

A 子どもたちのために今何ができるのか。今の環境を受け継ぐよりも、統合再編が必要だと思っています。子どもたちを輝かせたい。中学生は仲間と共に何かをやりとげることが大切であり、それにより成長するものです。そのためには教育環境を整えることが必要だと考えます。

Q 学校施設の整備について、何年かに分けて行えば、現在の状態で行ける可能性もあるのではない
かと思う。 (総合センター)

A 施設の改修費用について、学校教育に関しては、年間7億円くらいの予算です。その内1億円の
改修費というのは非常に大きな金額です。その改修費を最新の教育へ使うことができるようになる
ことも考慮いただきたいと思います。

Q 保護者としては、校舎は新築の方が嬉しい。 (白石小学校)

A 本町も財政的に余裕があるわけではありません。建築については、今後の財政計画も考えながら
進めていくことになると思います。安全面を考えながら整備を進めたいと考えます。

Q 現白石中学校付近は浸水し、お迎えの時は大変である。そのあたりも想定して調整して欲しい。
(須古小学校)

A ひどい雨の時でも校舎の床上浸水までは生じていません。防災対策として、安全性を確保しなが
ら、また保護者のご協力を得ながら、ソフト面、運用の面で配慮をしていかなければならないと
思っています。

Q 開校時、特別支援教室が10学級ということだが、通級指導教室も含めると、新しい教室は何教室作らないといけないのか。
(有明東小学校)

A 校舎の中に、普通教室サイズの教室が18部屋あり、25学級の場合は、7部屋足りないことになりませんが、既存の施設を改修して調整するので、そのまま7部屋が足りないことではありません。現在、教室配置は検討中であり、どうしても足りない部分を増築で対応します。

Q 新設中学校が改修、増築となった時に、例えば運動場を減らすことになり、子どもたちの部活動場所が減ったりすることがあるのか。
(白石小学校)

A 増築については、運動場の方に広げることは考えていません。校舎側で増築を検討しているところです。

Q 30人学級が決定すると、学級数が増えるため教室が新たに必要になる。3つの中学校を残しておけば、空き教室があるため、すぐに対応できるではないか。
(須古小学校)

A そうなった場合は対応できるようにします。3つの中学校を残した方がよいとのことですが、福富中学校は老朽化が進んでおります。また、空き教室があるから、対応できるだけでなく、子どもたちのために学校の活性化を図ろうというのがひとつの目的です。

Q 中学校のプールや給食センター等、周辺の施設についてはどうするのか。 (六角小学校)

A 白石中学校のプールは、大変老朽化しており、一昨年で使用を止めています。プールについては、どうするか決まっていません。給食センターについては、今年、学校給食運営協議会で、検討をしているところです。

Q これだけ先々子どもの数が減る中で、小中一貫の考えはあるのか。小学校自体を2つに分けるといところが、あまりにも合理的ではないという感じがする。 (北明小学校)

A 審議会の答申を尊重しながら進めて行きます。今後の人口減少も考えながら、小学校については令和4年度から考えて行くことになりましたが、今現在、小中一貫教育については考えていません。小中連携については、続けていきたいと思えます。

その他学校統合再編に関すること

Q 学校統合は、政府が予算の削減のために推進しているとも聞く。 (有明公民館)

A 教員の数を少なくするために学校統合を考えているわけではありません。今の本町の学校の現状を考え、将来を見据えての措置です。本町が主体となって考えていることです。

Q この統合再編は、経費のこと、財政のことが理由の中心になっているのではないか。 (有明西小学校)

A 子どもたちのよりよい環境づくりというのが一番の大きな理由です。財政面や、教職員の問題など、トータルで考えて統合再編の話をしているところです。

Q 統合再編の進め方に疑問を持っている。町民の意見を聞いて、賛成が多数であれば進めるべきではないのか。最初から統合再編ありきで計画案を作っている気がする。 (総合センター)

A 議会からの問題提起がありました。また、第2次白石町総合計画を作る際の町民アンケートでは、現在の学校を維持して欲しい26%、早急に・将来的に統合54%でした。そのこともあり、統合再編の検討を始めました。また、昨年度開催した学校統合再編審議会でも、統合再編についてしっかり審議し、答申を出していただいたところです。

Q 町民全部がこの計画を知った上で、賛成のもとに進めるのが本当ではないか。この説明会が終わり、町民全部に説明ができたということで先に進むのはどうかと思う。 (総合センター)

A 学校統合再編だよりを2回配布、説明会を11カ所で開催しました。力不足の部分はあるかと思いますが、皆様にもご協力いただければ幸いです。町としても、あらゆる手段を使って周知していきたいと考えます。

Q 統合再編については、6年ほど前から議論されていること。空白期間が6年あるが、どうして今なのか。 (有明公民館)

A 22年度頃から一般質問で話が出ていました。町づくり全体の変革は簡単にはできません。現に人口減が迫っている中で、子どもたちのためにどうすべきかということで動き出したところです。

Q 昨年度の学校統合再編審議会のメンバーはどういう方々だったのか。住民の代表を入れるべきではなかったかと思う。 (有明公民館)

A 審議会委員は、各小中学校の学校運営協議会推薦11名、一般公募者3名、議会議員2名、校長会2名、学識経験者等4名の計22名に入っていました。

Q 令和6年度に新設中学校を開設するという前提での説明会なのか。 (有明西小学校)

A 新設中学校の開校を令和6年4月とするということで計画案の説明を行っています。皆様のご意見をお聞きし、この後調整をして、最終的には町議会に提案をして決定する予定です。

Q 中学校を2校にするという考えはないのか。 (総合センター)

A 審議会の答申を尊重して、計画案を作成しています。審議会での審議の中では、中学校を2校にするという案は話としては出ていません。

Q 令和6年度に統合再編する時は、段階的にではなく、一度に行うということか。 (須古小学校)

A 今予定しているのは、学年別や学校ごとではなく、3校同時に統合再編を行うということです。

Q 将来的に統合再編は必要だと思うが、令和6年度ではなく、もう少し先でもいいのではないかと。
(福富小学校)

A 昨年度の学校統合再編審議会では、統合再編するのであれば、早くという意見もありました。もっと先でもいいのではないかとという話もご意見として承ります。

Q 子どもの数がどんどん減り、将来的には小規模校になるのではないかと考えている。そのあたりはどう考えているのか。
(須古小学校)

A これからの人口の増減等も見ながら、進めて行くことになると思いますが、今時点でどうというのは言えないところです。

Q 統合再編するしないは、いつどうやって決まるのか。
(有明東小学校)

A この説明会終了後に、パブリックコメントを行います。その後、計画案を決定、議会で最終決定をしていただくこととなります。

Q 説明会での意見を反映させた後、案の段階でまた説明会を行うのか。議会の可決があった後に、説明会があるのか。意見を反映させた分は、いつわたしたちに届くのか。 (有明南小学校)

A 説明会の後、パブリックコメントでも意見を受け付けます。詳細については準備委員会で話されますが、保護者の意見をお聞きしなければならない場合には説明を行います。基本的にはこの計画については、この案で進めるように考えているところです。

Q 統合再編について、ざっくりしたビジョンしか見えてこないもので、もう少し具体的なビジョンを示してもらった方が、保護者もわかりやすい。 (須古小学校)

A この計画はまだ案の状態であり、この案が取れた状態になって初めて、具体的な話をする事ができます。新しい学校づくり準備委員会（仮称）で話し合うこととなります。

Q 今後、新しい学校づくり準備委員会（仮称）で詳細が話し合われるとのことだが、その内容もぜひ説明していただきたい。保護者はどうやって意見を出せるのか教えていただきたい。 (有明西小学校)

A 準備委員会は保護者の代表の方にも入ってもらいます。保護者の方には多々お聞きしないといけない部分があると思うので、会の進行具合を見ながら、保護者説明会を行うことになると思います。

地域の活性化に関すること

Q 白石町の人口が減ることに対し、なんとか食い止めよう、というような町としての政策が必要ではないか。
(白石小学校)

A 白石町の人口増というのは、中学校の統合再編とは別のところで、町として取り組みをしていかなければならないと思っています。

Q 白石町の課題というのは、全ての問題が人口減に起因していると思う。人口増が喫緊の課題だと考えれば、学校を再編することが人口増につながっていくのかどうか。人口増の見通しがあるのか。
(ゆうあい館)

A 本町としても、婚活や農業で人を呼び込むこと等、他の施策も含めて人口増、維持を考えているところです。教育委員会としては、魅力的な学校をすることで、若い夫婦に本町に留まってもらう、強いては本町に転入してもらうことも可能だと思い、施策として学校の充実を考えています。

Q 白石町はひとつと言われたが、山んもん、海んもんがいていいではないか。多様な歴史と文化、経済を持っているのだから。
(総合センター)

A 本町合併して15年、8カ村の時代からは65年が経過しています。確かに地域性はありますが、多様な文化も白石町の文化として、共有する人づくりも行っているのではないかと考えています。

Q 近くにある学校が無くなったら、ますます地域の人口は減っていくのではないか。
(白石小学校)

A 白石町には子どもを通わせたい魅力的な学校がある、白石町に住みたい、というのを重視して考えたいと思います。

Q 福富だけが学校がなくなる。なんとか学校を残して欲しい。
(ゆうあい館)

A 地域から学校がなくなる、母校が無くなるという寂しい思いはあります。しかし、学校の第一目的は子どもたちの教育であり、その教育のために先祖は努力をして学校を作ってきたと考えます。今回の学校統合再編は、その発展上にあると思っています。地域の発展は別問題で考えてください。

Q 自慢できるような学校を作り、白石町に住みたいと思っていただけのように、強いては人口増につながるよう考えて欲しい。
(白石小学校)

A 現在修理に使っている予算を、インターネット等子どもたちのためになるものを使用したいと考えます。部活動問題等を解決し、よりよい学校づくりを目指します。

Q 人口減とばかり言っているが、白石町に住んでよかった、住みたいと言ってもらえるような魅力的な活動をしているか。魅力的な町づくりも同時にやってもらいたい。 (有明東小学校)

A 町のいいところをいかに発信するかというのが大事だと思います。本町もいろんな町づくりに取り組んでいますが、全国的な人口減の中、本町だけが人口を増やすというのもなかなか難しい問題です。